

南丹市ケーブルテレビの状況と南丹市の現状

1. 南丹市ケーブルテレビの沿革

年	出来事
昭和63年	園部町でケーブルテレビ整備事業に着手
平成4年	園部町のケーブルテレビ局を開局し、テレビ再送信と自主放送(9チャンネル)を開始。
平成5年	園部町ケーブルテレビ放送開始
平成12年	園部町全域でインターネットの運用開始
平成15年	ケーブルテレビ伝送路(幹線)の光ケーブル化(HFC方式)工事完成
平成17年	地上デジタル放送の再送信を開始
平成18年	新市全域において各家庭までの光ケーブル(FTH方式)によるケーブルテレビ網整備を決定
平成19年	日吉町地域での光ケーブル(FTH方式)によるケーブルテレビサービスを開始
平成20年	美山町地域・八木町地域での光ケーブル(FTH方式)によるケーブルテレビサービスを開始 自主放送を「9チャンネル」から「11チャンネル・なんたんテレビ」へ変更
平成23年	テレビのアナログ放送終了。完全デジタル化
平成26年	インターネットサービスの通信速度を上下100Mbpsに増速
平成27年	園部町地域での光ケーブル(FTH方式)の整備を完了したことで、市内全域に光ケーブル網の整備を完了
平成29年	国際交流会館ー各町サブセンター間ネットワークの強靱化(冗長化)工事完了

2. ケーブルテレビのサービス内容

サービス区分	内容
基本サービス (月額利用料/1,570円)	テレビ放送・ラジオ放送の同時再送信 自主放送番組の放送、データ放送
インターネット接続サービス (月額利用料/3,140円)	インターネット接続、メール (通信速度=100Mbps)

(1)番組制作

ニュースや企画番組、学校番組等の制作、地域や学校など各組織と連携して情報収集及び取材を行い、地域活性化につながる番組制作に取り組んでいます。また、週2回のニュース番組では、地域や学校、団体の取り組みを取材し、インタビューなどを盛り込んで魅力ある特集番組などとして放送しています。

(2)緊急・防災情報

防災訓練に併せて、放送訓練を行うとともに、災害発生時には災害対策本部会議に同席し、市民にお伝えすべき情報をL字アラートや、文字放送などで流しています。また、河川カメラで河川の状況をお伝えすることで、避難の判断などにも役立ててもらっています。

(3)教育機関との連携

小中学校、高校、大学、幼稚園、保育所などと連携し、各校の特色ある取り組みを紹介し、また、家庭学習にも役立ててもらえる番組の制作・放送にも取り組んでいます。

(4)生中継

南丹市議会定例会本会議や中学校等の野球大会、小学校の鼓笛パレードのほか花火大会の様を生中継するなど、臨場感のある放送に取り組んでいます。

(5)過去の映像と文化遺産の保存

記録映像の経年劣化が進む中、これらの映像を南丹市の財産として保存するとともに、過去の映像を検索・閲覧できるシステムの構築に取り組んでいます。

R2.10.9(水)京研

全国広報コンクールに初入選

写真愛好家密着 人の温かみ伝え評価

南丹市情報センターが制作、放映した特選番組「地元の魅力を写真におさめる」が、2020年の全国広報コンクール（日本広報協会主催）で入選した。同市早山町の写真愛好家への密着を通して、自然や暮らしの魅力を伝えた点が評価された。



入選の表彰状を手にする品川さん（左）と小島さん。後ろの画面が入選作品「南丹市情報センター・市情報センター」

南丹市情報センター制作の特選番組「地元の魅力を写真におさめる」が、2020年の全国広報コンクール（日本広報協会主催）で入選した。同市早山町の写真愛好家への密着を通して、自然や暮らしの魅力を伝えた点が評価された。

入選の表彰状を手にする品川さん（左）と小島さん。後ろの画面が入選作品「南丹市情報センター・市情報センター」

写真愛好家密着 人の温かみ伝え評価

南丹市情報センターが制作、放映した特選番組「地元の魅力を写真におさめる」が、2020年の全国広報コンクール（日本広報協会主催）で入選した。同市早山町の写真愛好家への密着を通して、自然や暮らしの魅力を伝えた点が評価された。

入選の表彰状を手にする品川さん（左）と小島さん。後ろの画面が入選作品「南丹市情報センター・市情報センター」

京研 南丹 楽行 展覧

南丹市情報センター制作の番組

京都広報賞で最優秀

南丹市情報センター制作の特選番組「地元の魅力を写真におさめる」が、2020年の全国広報コンクール（日本広報協会主催）で入選した。同市早山町の写真愛好家への密着を通して、自然や暮らしの魅力を伝えた点が評価された。

美山の写真愛好家密着、思い伝え「地元愛、見事に表現」

京都広報賞の知事賞を受賞した特選「地元の魅力を写真におさめる」の一場面

京都広報賞の知事賞を受賞した特選「地元の魅力を写真におさめる」の一場面

3. ケーブルテレビの加入状況

テレビ

区分	区分	H21年度末 H22.3.31	H22年度末 H23.3.31	H23年度末 H24.3.31	H24年度末 H25.3.31	H25年度末 H26.3.31	H26年度末 H27.3.31	H27年度末 H28.3.31	H28年度末 H29.3.31	H29年度末 H30.3.31	H30年度末 H31.3.31	R1年度 R2.3.31
全体	加入者	13,020	13,574	12,969	13,737	13,806	13,891	14,013	14,077	14,012	13,910	13,916
	増減	89	554	▲ 605	768	69	85	122	64	▲ 65	▲ 102	6
	うち課金者	11,828	11,985	11,317	11,173	11,210	11,230	11,314	11,331	11,183	11,178	11,161
	増減	230	157	▲ 668	▲ 144	37	20	84	17	▲ 148	▲ 5	▲ 17

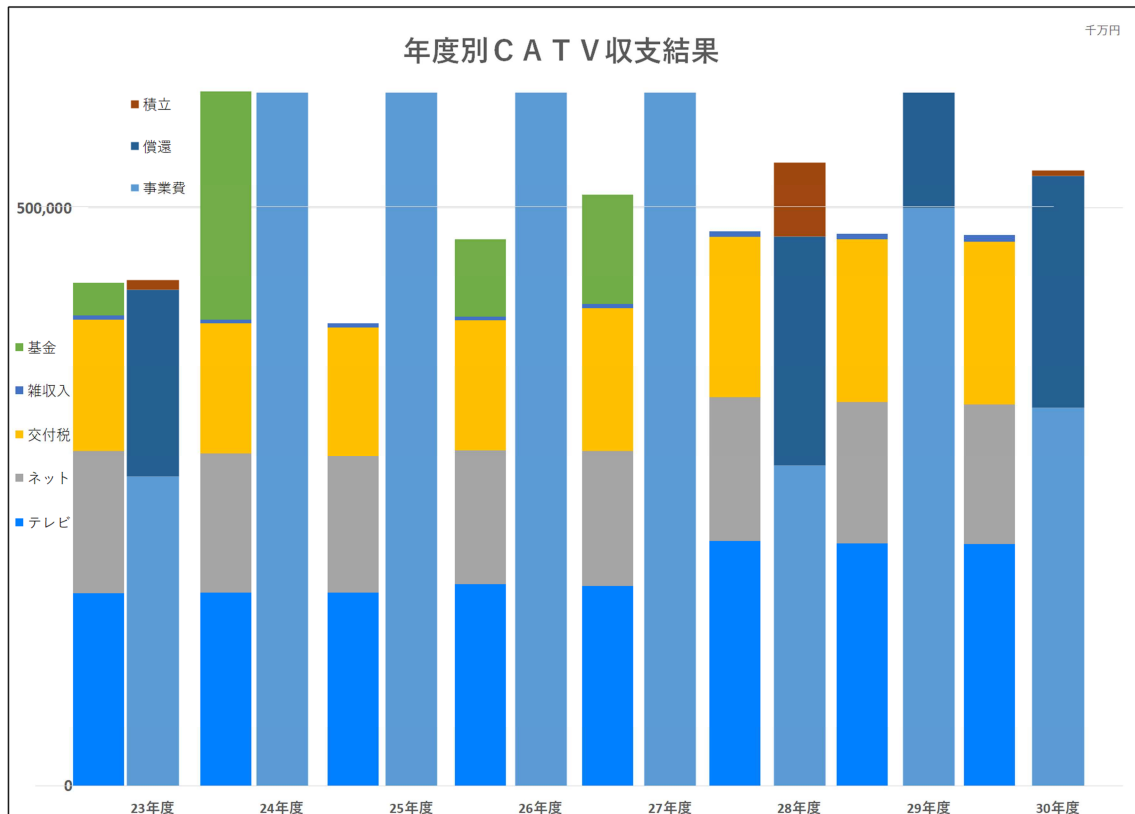
ネット

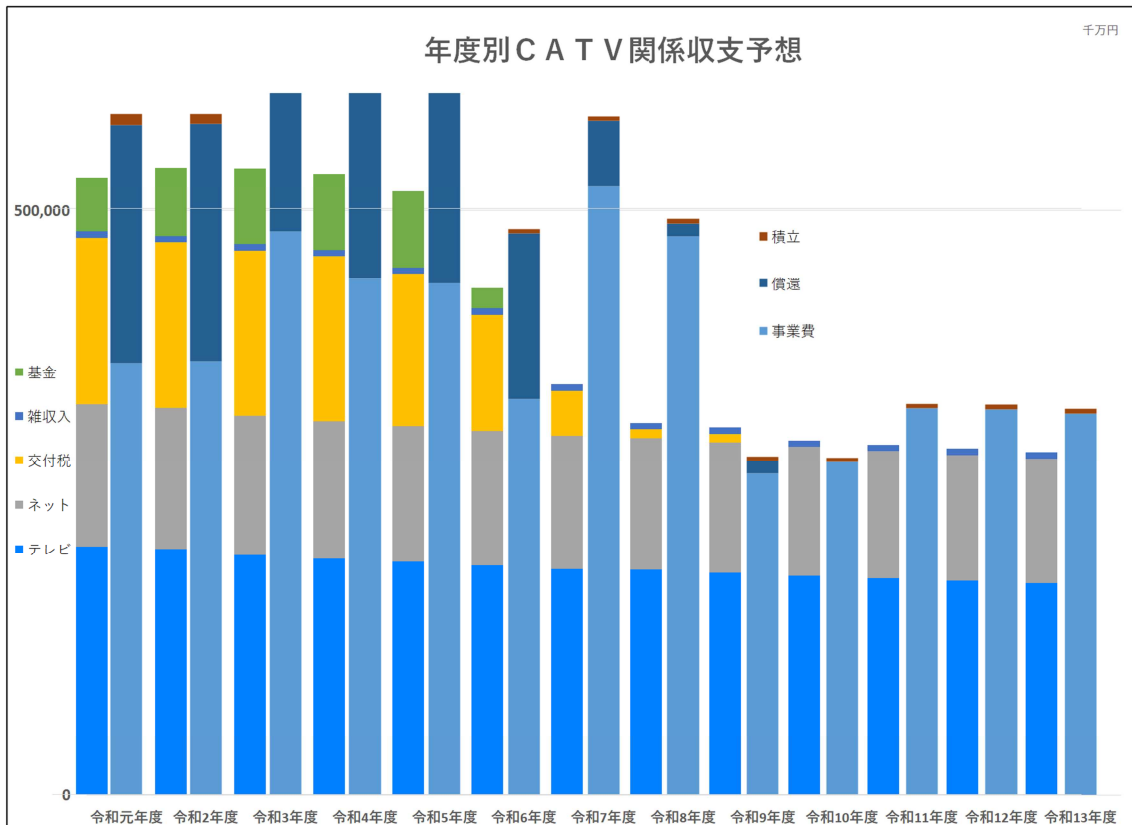
区分	区分	H21年度末 H22.3.31	H22年度末 H23.3.31	H23年度末 H24.3.31	H24年度末 H25.3.31	H25年度末 H26.3.31	H26年度末 H27.3.31	H27年度末 H28.3.31	H28年度末 H29.3.31	H29年度末 H30.3.31	H30年度末 H31.3.31	R1年度 R2.3.31
全体	加入者	4,584	4,646	4,730	4,806	4,809	4,898	5,161	5,212	5,212	5,052	5,080
	増減	163	62	84	76	3	89	263	51	0	▲ 160	28
	うち課金者	3,429	3,492	3,511	3,453	3,317	3,207	3,270	3,252	3,227	3,220	3,221
	増減	170	63	19	▲ 58	▲ 136	▲ 110	63	▲ 18	▲ 25	▲ 7	1

【加入率】

区分	区分	H21年度末 H22.3.31	H22年度末 H23.3.31	H23年度末 H24.3.31	H24年度末 H25.3.31	H25年度末 H26.3.31	H26年度末 H27.3.31	H27年度末 H28.3.31	H28年度末 H29.3.31	H29年度末 H30.3.31	H30年度末 H31.3.31	R1年度 R2.3.31
TV	園部	100.19%	104.30%	97.14%	104.49%	103.62%	103.70%	105.06%	105.40%	104.18%	103.72%	102.01%
	八木	42.55%	45.02%	44.41%	44.71%	44.31%	44.42%	45.75%	45.91%	45.81%	43.50%	43.86%
	日吉	86.54%	88.70%	86.06%	89.70%	90.73%	91.49%	93.91%	93.70%	92.83%	93.24%	93.76%
	美山	87.34%	89.72%	90.58%	92.03%	91.58%	91.48%	95.16%	95.46%	96.28%	94.43%	95.26%
	全体	83.13%	86.26%	82.29%	86.76%	86.42%	86.62%	88.56%	88.73%	88.13%	87.29%	86.89%
NET	園部	19.89%	19.64%	20.24%	20.34%	20.15%	20.27%	21.18%	21.50%	21.93%	21.98%	21.69%
	八木	25.50%	25.55%	25.39%	25.55%	24.76%	24.57%	25.03%	24.90%	24.90%	22.25%	22.35%
	日吉	40.89%	42.61%	43.75%	45.05%	46.01%	48.43%	53.21%	53.27%	51.64%	52.33%	53.08%
	美山	51.41%	52.44%	53.05%	54.47%	54.23%	54.92%	61.79%	62.63%	63.47%	59.23%	60.53%
	全体	29.27%	29.52%	30.01%	30.35%	30.10%	30.54%	32.62%	32.85%	32.78%	31.70%	31.72%

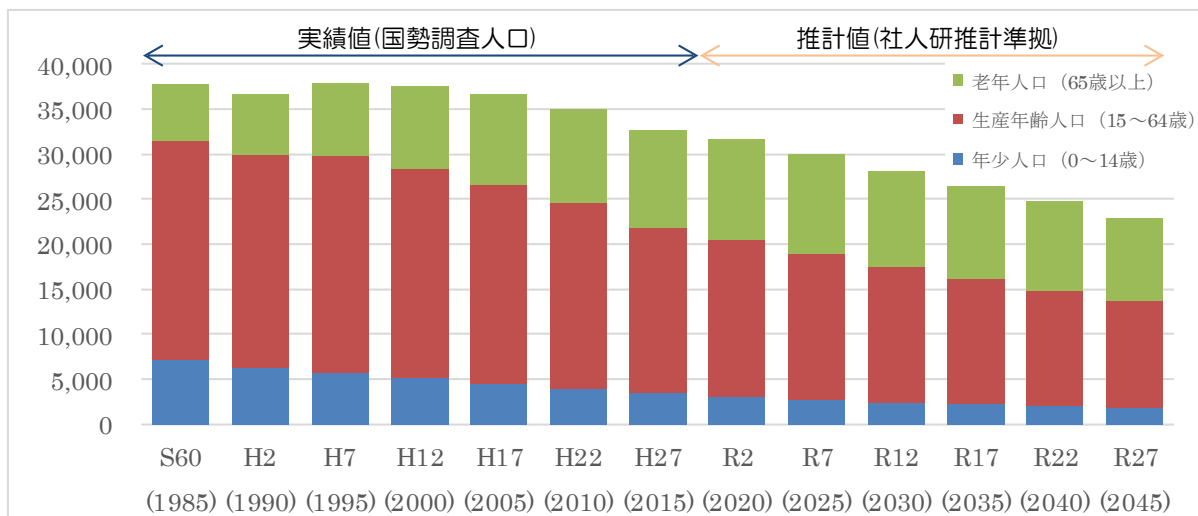
4. ケーブルテレビ事業の収支状況と見込





5. 南丹市の人口の推移と推計

南丹市(合併以前は4町の合算)に目を向けると、国の動態よりも少し早く人口減少局面に入っており、国勢調査によれば平成7年(1995年)の37,841人をピークに、毎年250人を超えるペースで減少しています。



6. 南丹市の今後の財政見通し

現状のまま事業を継続した場合、令和5年度には財政調整基金がゼロになってしまい、令和7年度には歳入よりも歳出が上回る状況に陥ります。そして以降は、赤字が累積していく見通しです。

